



深秋の
風物詩

笑顔の花を咲かせよう

ネモフィラの種まきが始まります

国営ひたち海浜公園では、みはらしの丘にてネモフィラの種まき作業が始まります。なだらかな稜線の美しい丘で、一列に並び種をまいていく様子は、当公園の風物詩。秋から冬への季節の変わり目を感じさせてくれます。春に向け、ネモフィラとたくさんの笑顔を咲かせるための最初の一步。これから約半年かけて、花と空と海の青が溶け合う風景をつくりあげていきます。



みはらしの丘 (2019年11月20日撮影)

◆来春こそはと思いを込めて

令和2年度より、ネモフィラの面積を3.5haから4.2haへ2割拡大しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休園となり、ご来園頂いて見ていただくことは叶いませんでした。来春こそは、青く染まった丘が空と繋がる大パノラマを現地でお楽しみいただけるよう、思いを込めて準備を進めます。

◆11月13日より種まき開始

みはらしの丘では、11月13日よりネモフィラの種まき作業を行う予定です。まず、20cmの等間隔に目印となるラインを引きます。次に、ラインに沿って手作業で種をまき、土をかぶせていきます。広大な面積にむらなく均等に種をまくのは、長年の経験とチームワークがなせる業。延べ80人ほどで約2週間かけて行い、11月中の完了を目指します。

＜ネモフィラ＞ 場所:みはらしの丘 植栽面積:約4.2ha 本数:約530万本 見頃:4月中旬～5月上旬
品種:インシグニスブルー ムラサキ科(旧ハゼリソウ科)ネモフィラ属の一年草



ネモフィラの面積拡大(2020年4月30日撮影)

◆冬だけの白い丘

ネモフィラは、播種後10日から2週間ほどで芽を出し始めます。発芽を確認したのち、冬季の低温から株を守るための「霜除けシート」をみはらしの丘全面に設置します。シートに覆われた丘は、白銀のスキー場のよう。ネモフィラの青でもコキアの赤でもない、白い「みはらしの丘」を楽しめるのは冬の間だけです。



一面シートに覆われた丘 (2020年1月10日撮影)

Information

みはらしの丘で採取したコキアの一部は、千支の巨大地上絵の材料に使用します。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星

TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>